



# 環境報告書 (エコレポート) 2019

2018年度報告



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



## SDGs (持続可能な開発目標)とは…

2015年9月、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果文書として、「我々の世界を変革する、持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。そこに盛り込まれているのが、「誰一人取り残さない」社会の実現にむけた、世界を変えるための17の目標「SDGs(エスディージーズ)」。途上国も先進国も含めた世界中の一人ひとりに関わる取り組みで、2016年1月から実施が始まっています。

## INDEX

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 2018年度の5大ニュース         | 1  |
| 地球温暖化防止と再生可能エネルギー     | 3  |
| 資源循環型の暮らし             | 5  |
| 暮らしと環境をつなげて考える        | 7  |
| SDGs17の目標とコープこうべの取り組み | 9  |
| コープこうべの環境活動のあゆみ       | 10 |
| コープこうべ環境憲章            | 10 |
| 組合長理事あいさつ             | 11 |
| コープこうべ概要              | 11 |
| 環境チャレンジ目標(エコチャレ2030)  | 11 |

2018年度の

# 5大 ニュース

## 01 脱プラスチックの 取り組みがスタート!



商品の容器包装やレジ袋など、組合員のくらしやコープこうべの事業にとってプラスチックは多量に使用されています。これまでもマイバッグ運動やリサイクル活動に取り組んできましたが、持続可能な社会づくりに向け、組合員・職員の声に応え、「脱プラスチック」に関する基本方針を2019年2月に策定し、取り組みに着手しています。

### プラスチック使用に関する 基本方針

- 1 環境に配慮した事業・活動を通じて、組合員のくらしを守る生協として、事業および組合員家庭で発生する「使い捨てプラスチックの使用量削減」を目指す。
- 2 使用量の削減が容易なものから順次着手するとともに、短期的に使用量を減らすことができないプラスチック製品については、再生プラ、紙・バイオプラといった代替素材(再生可能資源)への切替え検討やリサイクル活動をすすめる。
- 3 消費者運動と事業体の両面をもつ生協が率先して取り組むことで、地域社会全体の取り組みへと発展させていく。

### ラベルレス飲料1本につき2円を 海ごみ清掃活動に寄付

脱プラスチックの取り組みの1つとして、「ラベルレス飲料」の供給を宅配で開始しました。

あわせて、1本につき2円を兵庫県の「生物多様性ひょうご基金」に寄付。基金を通じて、海ごみの清掃活動に取り組む団体を支援しています。また2019年6月1日には「プラスチックごみと未来を考えるシンポジウム」を開催。寄付金の贈呈式も執り行いました。



写真提供:アサヒ飲料㈱

ラベルがないので…

プラスチックの使用量削減

リサイクルの際には  
はやく手間がなく便利!

1本につき2円を寄付



清掃活動のイメージ

## 02 再生可能エネルギーとリサイクルを 組合員と一緒に考えました



組合員や職員が「エネルギー&リサイクル」をテーマに、コープでんきの発電所とリサイクルセンターを見学しました。エネルギー学習では、「コンセントの向こう側」を学ぶ機会として、夏休みに親子を対象にした風力発電所の見学会など、コープでんきの産地を訪ねました。リサイクル学習では、店頭回収のリサイクル品の行方とリサイクル作業を担う障がい者の就労を支援する新たな取り組みにステップアップしている様子を見学しました。一年間で39企画1,071人が参加し、学びました。



コープでんきの産地を訪ねる  
～風力発電所の見学の様子～

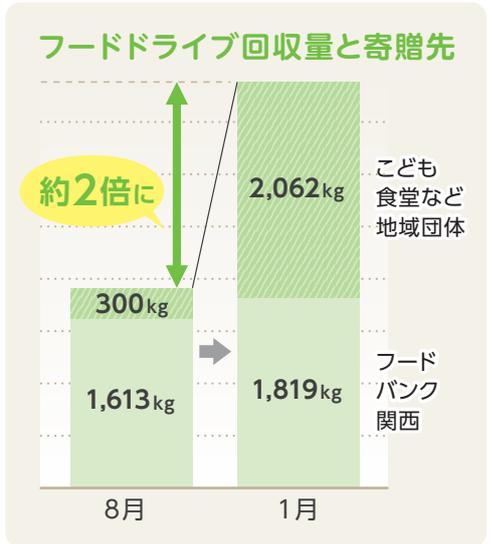


夏休みの親子バス見学会  
～鳴尾浜リサイクルセンター見学の様子～

## 03 フードドライブをはじめとした食を通じた地域支援をすすめました

家庭で余っている食べきれない食品を持ち寄り、それを必要としている福祉施設・団体などに寄付する「フードドライブ」を8月と1月の3日間、全店舗で実施し、合計で約6tの食品を受け付けました。集まった食品はフードバンク関西を通じて児童養護施設やひとり親家庭へ提供されたほか、こども食堂など地域団体でも活用されました。家庭から寄せられた善意の食品を、地域で必要とする方が活用する助け合いの仕組みが広がっています。

コープ西宮ではフードドライブ回収ボックスを常設するなど、常時受付の取り組みもはじまっています。



## 04 不用になった羽毛(ダウン)の回収をスタート! グリーンダウンプロジェクト

羽毛は水鳥から採取される有限な資源です。需要の高まりに対し、羽毛資源は減少傾向です。限りある資源を有効活用する取り組みとして、羽毛布団・ダウンジャケットの回収・リサイクルを開始しました。回収した羽毛製品は、洗浄・精製加工され、再生羽毛(グリーンダウン)として、広く社会で有効利用されます。



2019年5月現在、12店舗で常設の回収BOXを設置

## 05 SDGsについて組織全体で学びを深めました

コープこうべの事業活動とSDGsとの関係性について、組織全体で学習を深めました。総代研修会では616名が参加。「初めて聞く言葉だったが、生協がこれまでやってきた事業や活動そのもの」、「SDGsのゴールは誰もが望んでいること。組合員として、今後どのように取り組めばよいか話し合っていきたい」といった感想が聞かれました。

また、コープ委員の商品担当者会議でも124名がSDGs学習会に参加。「私たちが現在取り組みを進めている“エシカル消費”は、SDGsを達成するための“手段”であることがよく分かった」との声も聞かれました。



コープ委員の商品担当者会議でのSDGs学習の様子

# 地球温暖化防止と再生可能エネルギー

地球温暖化、原発事故後のエネルギー問題に対して、コープこうべのエネルギー政策に沿って、省エネや再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の普及・拡大に取り組みました。

## 長期的なCO<sub>2</sub>削減計画

環境に配慮した事業活動を通じて組合員の暮らしを守る生協として、2020年までにCO<sub>2</sub>排出量を約35%削減(2005年度対比)する長期目標のもと、取り組みをすすめた結果、前倒しでこの目標を達成しています。

更なるCO<sub>2</sub>削減をめざし、2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を半減させる計画を策定(2018年2月)し、取り組みをさらに強化していきます。

## 省エネチューニングの対象事業所の拡大

冷蔵冷凍機器や空調の運用調整によって省エネ効率を改善させる「省エネチューニング」を、約100カ所の店舗や本部で導入しています。



省エネチューニング作業



## 太陽光発電の自家発電・自家消費を拡大

コープこうべグループでは、再エネの普及のために兵庫県と大阪府の25カ所に太陽光パネルを設置。さらに、事業所の屋根に設置した太陽光パネルで発電された電気を、事業所で直接使用する(自家発電・自家消費)取り組みを拡大しました。2019年4月現在、対象事業所は6事業所になり、6事業所の自家消費分は、年間で一般家庭2,327軒分の使用量に相当します。

さらに、業務車両に電気自動車を導入することで、万が一の災害や停電時には、電気自動車に充電した電気を非常用電源として使うことができます。



## コープこうべグループが進める太陽光発電

(●印は自家発電・自家消費)

- ① 鳴尾浜発電所
- ② 稲美発電所
- ③ 北神戸発電所
- ④ 姫路東発電所
- ⑤ 氷上発電所
- ⑥ 高槻発電所
- ⑦ 三木三津田発電所
- ⑧ あこや学園発電所
- ⑨ 西播磨発電所
- ⑩ 神吉発電所
- ⑪ WJS魚住発電所
- ⑫ 須磨発電所
- ⑬ 尼崎発電所
- ⑭ 丹波発電所
- ⑮ 大王丹波発電所
- ⑯ 箕面発電所
- ⑰ 淡路発電所
- ⑱ 川西発電所
- ⑲ 西神戸発電所
- ⑳ 伊丹発電所
- ㉑ 豊岡発電所
- ㉒ 神戸西発電所
- ㉓ コープ甲子園口
- ㉔ 生活文化センター
- ㉕ 住吉事務所



伊丹発電所(協同購入センター伊丹)



電気自動車に充電



西神戸発電所(協同購入センター西神戸)

# 1 へらす

くらしや事業で  
省エネルギーを進めます

- ①事業における省エネの推進
- ②くらしにおける省エネの推進

## コープこうべの エネルギー政策



コープこうべでは、2013年7月「コープこうべのエネルギー政策」を策定。3つの基本方針に沿って、組合員や地域社会とともに、持続可能なエネルギー社会に向けた取り組みをすすめています。

# 2 つくる

再生可能エネルギーを  
利用した発電事業を進めます

- ①コープこうべが進める  
発電事業の推進
- ②地域や組合員と進める  
発電事業の推進

# 3 つかって ひろげる

再生可能エネルギーによる  
電力供給事業を進めます

- ①コープこうべの施設で再生エネを  
使用する事業の推進
- ②組合員への  
電力小売事業の推進

### 再エネ電力を事業所で利用

再エネ電力を含む「コープでんき」を、組合員の家庭にお届けするだけでなく、コープこうべの90事業所にも供給し、再エネのさらなる普及と、事業から排出されるCO<sub>2</sub>の削減をすすめています。



コープでんきを  
利用する店舗  
(コープ園田)

### 組合員への電力小売事業 (コープでんき)

2016年4月、一般家庭への電力小売が自由化され、生協も組合員に電気を供給することが可能となりました。同時に、消費者は、価格やサービス内容、電源構成などの情報をもとに自分の好みに合った電力会社を選べるようになりました。

一方、将来のエネルギー問題や地球温暖化などの環境問題に不安を感じる消費者を中心に、太陽光、風力、バイオマスなどの再エネからつくった電気や、より環境負荷の小さい電源からつくった電気を選択したいというニーズが高まっています。

再エネや、環境負荷の小さい電気を選びたいという組合員の声に応え、2017年4月より組合員向けの電力小売(コープでんき)を開始しました。

「コンセントの向こう側」のことを考えて電源構成にこだわり、FIT電気(再エネ)30%、天然ガス70%の電気を供給しています。

2019年4月現在、30,000世帯を超える組合員にご利用いただいています。



※1、※2  
FIT電気  
(再生可能  
エネルギー)

30%

天然ガス  
70%



コープでんきの  
調達電力量(kWh)計画値  
(2019年4月1日から  
2020年3月31日まで)

兵庫県宝塚市

#### 非営利型株式会社 宝塚すみれ発電

再エネの地産地消を目指した「市民発電所」を運営。宝塚での市民発電の取り組みは、行政、大学、地域とも連携した街づくりにもつながっています。



ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)の畑で育てたサツマイモの収穫の様子

太陽光  
発電

兵庫県神戸市

#### 神戸市 垂水処理場

神戸市垂水処理場では、下水污泥から発生するガスを利用したバイオマス発電を行っています。都市ならではの「資源」を有効活用した取り組みです。



バイオ  
マス  
発電

※1 FIT電気とは…再生可能エネルギーを普及させる制度として、電気の利用者全体で補助を行う「固定価格買取制度(FIT制度)」があります。この制度を利用して発電された再生可能エネルギー(太陽光、バイオマス等)の電気のことです。

※2 コープこうべがこの電気を調達する費用の一部は、コープこうべの組合員で電気をご利用の方以外の方も含め、電気をご利用の全ての皆様から集めた賦課金により賄われており、この電気のCO<sub>2</sub>排出量については、火力発電なども含めた全国平均の電気のCO<sub>2</sub>排出量を持った電気として扱われます。

# 資源循環型の暮らし

事業活動や暮らしの中から発生する食品廃棄物、容器・包装材などの発生抑制と有効活用に取り組みました。



## 1 食品ロス削減の取り組み

### 「てまえどり」を呼びかけ

10月、神戸市と連携した食品ロス“バイバイ”キャンペーンとして、神戸市内34店舗で、期限の近い食品や値引き品を購入する「てまえどり」を呼びかけました。コープ山手では、10月5日にPRイベントを実施し、マスコミ各社にも注目されました。



「てまえどり」呼びかけの様子

### 食品ロスの学習啓発

国内の食品ロスの約半数は家庭から発生しており、暮らしの中から捨てられる食品を減らすことは重要です。学習会やイベントを通じ、啓発活動を実施しています。たとえば、組合員グループ「e買うプロジェクト」では学習ツールを作成。組合員同士の学びあいがすすみました。



e買うプロジェクトでの学習の様子

### フードバンク・こども食堂への食材提供

フードドライブ（←2ページ参照）のほか、やむなく返品となりお届けできなかった宅配商品や店舗の販売期限切れ食品の一部を、フードバンクや地域のこども食堂へ提供しています。

食品ロスの削減だけではなく、地域の居場所づくりや貧困問題解決の一助にもなっています。



## 2 食品リサイクル推進の取り組み

### 環境共生型農園エコファーム

堆肥化施設コープ土づくりセンターと、隣接する(有)みずほ協同農園からなるエコファーム(三木市)では、コープこうべの40店舗の野菜・肉の加工くずを回収・堆肥



化し、その堆肥で育てた野菜を再び店舗などで供給しています。

エコファームは、資源循環型の農業を営むだけでなく、若手就農者の育成や、都市に住む消費者が農業について学ぶ場としての役割も担っています。

### 六甲アイランド食品工場のバイオマス発電

パンや豆腐などを製造する六甲アイランド食品工場では、メタン発酵を利用したバイオマス発電などにより、約97%の食品廃棄物をリサイクルしています。



バイオマス発電施設



### 3 容器包装の削減とリサイクル推進の取り組み

#### 店舗・宅配でのリサイクル品の回収

「ものの命を大切に」のキャッチフレーズのもと、ごみの削減と資源の有効利用を目的に1990年の牛乳パックのリサイクル回収からスタートしました。

#### 2018年度の回収量 (単位: kg)

|                       |         |                  |           |
|-----------------------|---------|------------------|-----------|
| 紙パック (店舗・宅配)          | 308,615 | 透明トレイ・卵パック (店舗)  | 128,316   |
| 飲料缶 (アルミ缶・スチール缶) (店舗) | 247,695 | 卵パック (宅配)        | 43,316    |
| 発泡トレイ (店舗)            | 157,306 | 商品カタログ「めーむ」 (宅配) | 7,942,317 |
| ペットボトル (店舗)           | 521,262 | 商品配達用ポリ袋 (宅配)    | 120,441   |
| ペットボトルキャップ (店舗)       | 31,674  |                  |           |

#### 鳴尾浜リサイクルセンター

コープこうべ鳴尾浜配送センター内に設置し、店頭回収のペットボトルや紙パック、店舗のダンボールなどの資源物の分別・プレスを行うリサイクル事業を行っています。作業はおもに子会社の阪神友愛食品(株)と(株)ゆうあいサポートの障がい者スタッフが担当。障がい者の皆さんの就労支援につながっています。



ペットボトル選別作業の様子

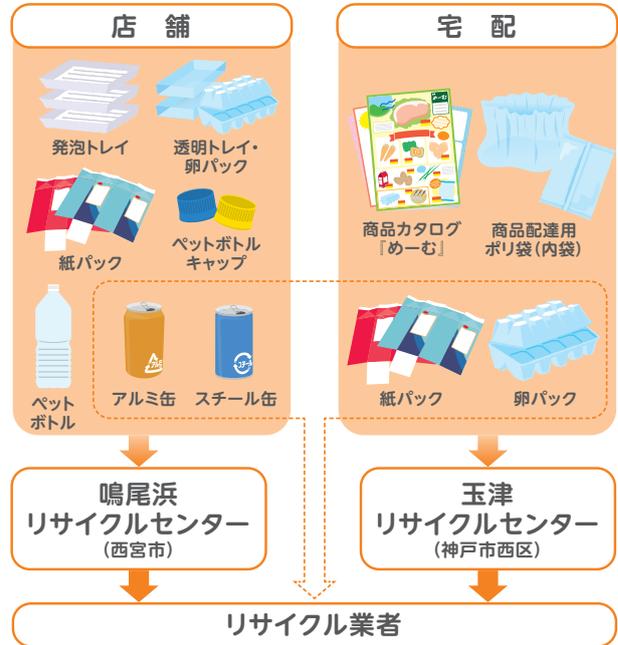


紙パックプレス作業の様子



#### リサイクルの流れ

店舗で8品目、宅配で4品目を回収



※リサイクル業者が直接回収する品目もあります

#### 使用済小型家電回収ボックスの設置

10店舗で小型家電の回収BOXを常設。回収された携帯電話やデジカメなどの小型家電から集められた希少金属は「都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト」として、2020東京オリンピック・パラリンピックのメダルに生まれ変わります。



オリンピック・パラリンピックのメダルに!

使用済小型家電回収ボックス

### 4 マイバッグ運動

2018年度持参率

89.9%

レジ袋節約枚数

7,513万枚

1978年に資源の有効利用とゴミ削減のためにスタートした「買い物袋再利用運動」が出発点です。2019年3月には、大阪府の北摂地域の7市3町と「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を締結しました。



レジ袋の代金は、全額環境の取り組みに活用しています。

- 1 「食と環境」分野の学習・活動の推進
- 2 エコファームの「食と環境」視点の学習の充実
- 3 コープの森・社家郷山の学習と整備活動
- 4 再エネや食品ロスなどの最新の環境問題に対する学習・活動の推進
- 5 容器包装のリサイクルに必要な費用の一部に充当



# くらしと環境をつなげて考える

「買い物ものがくらしや社会を変える。」という言葉どおり、私たちが何を選びとるかにより、それを生み出す産業や自然環境を次世代につなぐことができるかどうかが決まります。こうしたつながりの学びと体験を広げています。

## 1 エシカル消費

エシカルとは誰かの笑顔につながるお買い物。「自分のため」はもちろん、「自分以外のため」…そんな気持ちに支えられるエシカル消費。これまでも、これからもコープこうべは4つの視点をたいせつにします。

**エシカルとは…**「倫理的」という意味です。エシカルなお買い物とは地域や社会、環境や人々に配慮して、モノやサービスを購入することを言います。



### ／コープこうべの4つの視点／

私たちの  
お買い物で… **公正な社会**の仕組みが作り出せたら

社会インフラの改善や社会的公正の実現につながる

たとえば



フレンドリーバナナ

●働く場を作り、収入の安定や子どもの教育機会を創出



●生産者の生活が成り立つように公正な価格で商品原料などを継続的に買い取り



●トイレ紙のコアノンシリーズの購入金額の一部をユニセフに寄付し、アンゴラ共和国の子どもたちが安心して学べる学校の環境づくりを支援



私たちの  
お買い物で… **豊かな地域**を作り出せたら

地域の担い手や生産者の支援、被災地域復興などにつながる

たとえば



●地元の食材を利用することで、一次産業を元気に



コープの産直・ひょうご発・「とれびち&とれしゅき」



●商品の購入を通じた被災地支援も

商品一例

岩手県田老のふたけ塩わかめ



神戸ハイカラメロンパン募金

1個購入につき1円を被災地応援に



私たちの  
お買い物で… **地球環境**を守り続けることができたなら

持続可能な社会づくりにつながる

たとえば



●食べる人、作る人、作る環境に配慮した食べもの作り

●限られた資源を有効にリサイクル商品

●森や海の資源、生態系に配慮した原料で商品づくり

●商品価格の一部を寄付し、原料産地の環境を保全

太もずく・糸もずくサンゴの森づくりキャンペーン



FSC® 認証



MSC 認証 など

私たちの  
お買い物で… **人々の「生きる」**を支えることができたなら

くらしの問題の解決や生きづらさを抱える人々への支援につながる

たとえば



●コープこうべの夕食サポート「まいくる」1食あたり0.5円を、「(公財)コープともじびボランティア振興財団」に寄付しています



●コープ化粧品シリーズの対象商品1品購入ごとに1円を、日本乳がんピンクリボン運動へ



対象商品の一例  
フリーリアシリーズ



コープ基礎シリーズ

## 2 コープこうべ環境基金

コープこうべの創立70周年を記念して1992年3月31日に設立。この基金は、まもなく30周年を迎えます。兵庫県内で自然活動保護の実践活動や啓発活動、取り組みの効果を確認する実証的調査・研究を行っている団体を毎年度、助成しています。



2018年度は「実践活動部門」の23団体と「自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門」1団体に総額300万円を助成しました。



自然と文化の森協会  
～春の自然林観察

### 3 生産と消費をつなぐ取り組み

#### とれぴち&とれしゃき

地元の野菜や魚を食べ支えることが、それらを作る(獲る)人、つまり一次産業を支え、育む自然環境を保全することにもつながります。「ひょうご地魚推進プロジェクト(とれぴち)」「兵庫地場野菜振興プロジェクト(とれしゃき)」では、こうしたつながりについての体験・学習を、兵庫県漁業協同組合連合会、JA兵庫中央会などと連携してすすめています。2018年度は、店頭ミニ調理講習280回、料理会・学習会32回、産地体験14回を実施、合計11,236人が参加しました。

特にとれぴちについては、近年、地域密着のテーマで学びを深めることに力を入れています。東播磨地域を担当する地区では、淡路島の「かいぼり」を素材に、食べものと環境、そして生態系のつながりについての学びに着手しました。また、3月29日には、子どもたちに魚食に親しんでもらおうと、「鰯の手開きクッキング」を行い、小学生18人が参加しました。さらに、西播磨地域を担当する地区では、3月26日に坊勢漁協の漁業者と組合員が交流の場をもち、今後、いっしょに地元の魚の魅力を伝えていく活動へのキック



淡路島「かいぼり」の様子

オフを行いました。

一方、「とれしゃき」では、2018年12月、2019年3月に各2店舗で「兵庫フェア」を実施。ロメインレタス、菜の花など地元のJAが力を入れている野菜の食べ方を紹介しながら、兵庫の野菜についてアピールしました。



兵庫フェア

#### 「兵庫の特産『丹波黒』を家族で育てよう」 in エコファーム

10家族40名の親子が参加し、大豆づくりの一連の流れを体験する5回連続のイベントを開催。植え付けから土寄せ、草ぬき、収穫作業に加えて、大豆を育てる農業用水をたどるミニ旅行も実施。最終回には味噌づくりも体験しました。



苗植え



みそづくり

### 4 里地・里山での体験学習を通じ、食べものや暮らし方を考える

#### コープの森・社家郷山

生物多様性保全に向けた取り組みと並行して、私たちの暮らし方が自然環境や地域の防災に及ぼす影響などについての体験学習を継続しています。

2018年度は、西宮市立甲山自然環境センターとの共催プログラム「遊ぼう屋」「エコひろば」を合計9回実施し、232人が参加しました。このほか、組合員主催のイベントは3回31人が参加。ボランティアによる保全・整備活動に18回、のべ157人が関わりました。



遊ぼう屋「水路ハイク」の様子

#### 地域密着の里地・里山の体験、学習の広がり

各地区で、地域密着のテーマで「食と環境」を学ぶ取り組みが広がっています。

豊能町の「みんなの牧♥里プロジェクト」では、年々参加者が増え、2018年度は延べ1,173人の参加がありました。中でも子育て世代の参加が拡大し、収穫した野菜を使ったカレー作りや大根の植え付け～収穫までを自分たちでやりきる(大根チャレンジ)の取り組みなどが好評でリピーターも増えました。尼崎市の「尼崎21世紀の森」では、都市部に植樹することで、多様な生きものが生息するエリアを作り出しています。



大根チャレンジで大根を収穫





# SDGs17の目標とコープこうべの取り組み

これまでコープこうべでは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてきました。そしてこれからも、SDGsの17の目標につながる取り組みを進めていきます。

**1** 貧困をなくそう

**目標1** あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

- フードバンク、こども食堂の取り組み
- レッドカップキャンペーン
- 賀川豊彦や協同組合、生協の歴史に関する学習活動

**2** 飢餓をゼロに

**目標2** 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

- フードバンク、こども食堂の取り組み
- レッドカップキャンペーン
- フェアトレード商品(コーヒーなど)の供給
- コープスフレンドリーバナナ
- フードプラン
- 地産地消の取り組み

**3** すべての人に健康と福祉を

**目標3** あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

- 健康志向食品、スマイルケア食(介護食品)の供給
- 福祉介護事業、サービス付高齢者向け住宅
- 共済事業
- 視覚障がい者対応の取り組み
- 見守り活動
- ピンクリボン運動支援

**4** 質の高い教育をみんなに

**目標4** すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

- コープカルチャー等の文化事業、協同学苑事業
- コープの子育て支援事業「Terakoya」(学童保育)
- 阪神友愛食品(株)、(株)ゆうあいサポート・能力開発センターの運営
- 「協同組合の思想と実践」のユネスコ無形文化遺産への登録や「国際協同組合デー」を契機にした協同組合の価値の再認識

**5** ジェンダー平等を実現しよう

**目標5** ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う

- 女性管理職の登用率向上
- 人事制度改革

**6** 安全な水とトイレを世界中に

**目標6** すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

- コープ商品(水切り袋、廃油処理剤など)の供給
- 里山保全のための森林整備活動(コープの森・社家郷山)
- 住吉川清掃活動など
- コアノンスマイルスクールプロジェクト

**7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに

**目標7** すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

- (株)コープ環境サービスによる太陽光発電事業
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」、生協施設への電力供給事業

**8** 働きがいも経済成長も

**目標8** 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

- 人事制度改革
- 阪神友愛食品(株)、(株)ゆうあいサポートでの障がい者就労支援
- 同一労働同一賃金に向けた取り組み
- ワークライフバランスの推進 ●ダイバーシティの取り組み
- 協同購入センター西神戸・伊丹の保育ルームの取り組み

**9** 産業と技術革新の基盤をつくろう

**目標9** 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

- コープスフレンドリーバナナ
- コープ商品における産地指定商品など

**10** 人や国の不平等をなくそう

**目標10** 各国内及び各国間の不平等を是正する

- フェアトレード商品(コーヒーなど)の取り扱い
- コープスフレンドリーバナナ

**11** 住み続けられるまちづくりを

**目標11** 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

- 宅配事業、店舗事業、移動店舗、夕食宅配みくろ
- 拠点づくり、居場所・つどい場づくりの取り組み
- 買い物もんごの取り組み
- 地域団体、NPO、行政や自治体との連携
- 防災のローリングストックの取り組み
- 商品購入を通じた被災地復興支援(コープス応付きわかめ、すこやか牛乳、メロンパン募金など)

**12** つくる責任 つかう責任

**目標12** 持続可能な生産消費形態を確保する

- コープス、コープ商品全般 ●エシカル消費、エシカル月間の取り組み
- サプライチェーン全体を意識したCSR調達の推進
- フードプラン、エコファームでの資源循環、環境保全型農業の実践
- ひょうご地魚推進プロジェクト(とれびち)・兵庫地場野菜振興プロジェクト(とれしやき)
- 組合員の学習活動全般 ●援農ボランティア活動(職員・組合員)
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」

**13** 気候変動に具体的な対策を

**目標13** 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

- マイバッグ運動、店頭リサイクル活動
- 温室効果ガス削減、省エネの取り組み
- (株)コープ環境サービスによる太陽光発電事業
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」、生協施設への電力供給事業
- 食品工場におけるゼロエミッション(バイオマス発電など)に向けた取り組み

**14** 海の豊かさを守ろう

**目標14** 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

- 鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会への募金
- 沖縄恩納村のサンゴの森づくり(コープもずく)
- フードプランぶり ●ひょうご地魚推進プロジェクト(とれびち)
- 里山里海の取り組み
- 海ごみゼロウィークの海岸清掃活動

**15** 陸の豊かさも守ろう

**目標15** 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

- FSC認証商品の供給(コープティッシュ)
- レインフォレストアライアンスの商品の取り扱い
- ボルネオ緑の回復プロジェクト(コープ衣料用洗剤)
- 里山保全のための森林整備活動(コープの森・社家郷山)
- みんなの牧♥里プロジェクト ●尼崎21世紀の森

**16** 平和と公正をすべての人に

**目標16** 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

- 賀川豊彦や協同組合、生協の歴史に関する学習活動
- NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けた「ヒバクシャ国際署名」の取り組み
- 憲法についての学習活動 ●ユニセフ協会との連携
- 民主的運営の推進 ●コンプライアンス自主行動指針

**17** パートナリシップで目標を達成しよう

**目標17** 持続可能な開発実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

- 産直商品の開発・推進
- フードプラン
- ICA(国際協同組合同盟)との連携
- 協同組合間協同の取り組み
- 虹の仲間づくりカレッジの取り組み
- 地域団体、NPO、行政や自治体との連携

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



# コープこうべの環境活動のあゆみ

| 年度   | 主な取り組み   |
|------|--|
| 1978 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 買い物袋再利用運動を開始</li> <li>● 食品容器包装フィルムを塩ビからポリエチレンに変更</li> </ul>   |
| 1981 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 有リン洗剤の取り扱いを中止</li> <li>● せっけんキャンペーンを開始</li> </ul>   |
| 1990 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コープの環境月間スタート</li> <li>● 環境統一マーク商品の供給を開始</li> <li>● 牛乳パックリサイクルが本格的にスタート</li> </ul>   |
| 1991 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 買い物袋再利用運動から「買い物袋持参運動」に</li> <li>● フードプラン第1号商品開発</li> <li>● 飲料缶、トレイ、ペットボトルのリサイクル開始</li> </ul>                                |
| 1992 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公益信託「コープ環境基金」を設立</li> </ul>   |
| 1995 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 買い物袋持参運動を拡大して「マイバッグ運動」に</li> </ul>  |
| 1996 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 総代会特別決議として「環境憲章」を採択</li> </ul>  |
| 1998 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コープ武庫之荘ISO14001取得</li> <li>● コープ土づくりセンター完成</li> <li>● (有)みずほ協同農園発足</li> </ul>   |
| 1999 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● エコファーム施設の完成</li> <li>● 食品工場ISO14001取得</li> </ul>  |
| 2000 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全事業活動でISO14001取得</li> </ul>   |
| 2001 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● エコファームを本格オープン</li> </ul>  |
| 2003 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品工場の廃棄物処理設備完成</li> </ul>   |
| 2005 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ISO14001の環境マネジメントシステムを食品工場と統合</li> <li>● フードプラン管理規定の策定</li> <li>● 食品工場のバイオマス利活用の取り組みが、兵庫県「ひょうごバイオマスecoモデル」第1号に認定</li> </ul> |
| 2007 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● レジ袋のレジ精算、食品を扱う150店舗で実施</li> <li>● 容器包装3R推進環境大臣大賞最優秀賞受賞</li> </ul>   |
| 2008 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 兵庫県、西宮市と企業の森づくり協定締結</li> <li>● 「コープの森・社家郷山」の取り組み開始</li> </ul>   |

| 年度   | 主な取り組み   |
|------|--|
| 2010 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 店舗で卵パック、透明トレイの回収スタート</li> <li>● 地産地消の取り組み強化「ひょうご発」商品開発</li> </ul>   |
| 2011 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コープこうべ環境基金20周年のつどい開催</li> </ul>   |
| 2012 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際協同組合年記念事業「食と環境のシンポジウム」<br/>「虹の仲間で森づくり」開催</li> <li>● 住吉事務所が関西エコオフィス大賞<br/>「節電の励行部門賞」を受賞</li> </ul>   |
| 2013 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鳴尾浜配送センターで太陽光発電を開始</li> <li>● アルミ付紙パックの回収開始</li> </ul>  |
| 2014 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子会社の(株)ゆうあいサポートで店頭回収の<br/>ペットボトルのプレス作業開始</li> <li>● ISO14001の認証を返上し、自主運用に切り替え</li> <li>● 玉津リサイクルセンター稼働<br/>(宅配の商品情報紙「めーむ」の圧縮作業を開始)</li> </ul>   |
| 2015 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を開始</li> <li>● 「おおさか環境賞」の準大賞を受賞</li> <li>● ペットボトルのキャップの回収開始</li> <li>● 第3回 食と農林漁業の食育優良活動表彰<br/>「農林水産大臣賞(企業部門)」を受賞</li> <li>● コープの森・社家郷山が環境省「生物多様性保全上<br/>重要な里地里山」(500箇所)に選定</li> <li>● 宅配返品商品のフードバンク関西への提供開始</li> <li>● みんなの牧♥里プロジェクトの取り組み開始</li> </ul> |
| 2016 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 玉津リサイクルセンターで、宅配の商品配達用ポリ袋の<br/>圧縮作業を開始</li> </ul>  |
| 2017 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギー電力を含む「コープでんき」を<br/>組合員に供給する電力小売事業を開始</li> <li>● 鳴尾浜リサイクルセンター稼働</li> <li>● 協同購入センター伊丹がスマートKCとして稼働</li> <li>● 店舗でのフードドライブ開始</li> </ul>   |
| 2018 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」索定</li> <li>● 大阪北地区でレジ袋の無料配布を中止</li> <li>● 不用になった羽毛(ダウン)回収開始</li> <li>● 店舗の管理日数切れ商品をフードバンクへの提供開始</li> </ul>   |

## コープこうべ環境憲章

有史以来、私たちは自然界の恩恵を受け、自然との共生を図りながら生きてきました。しかしながら、今や私たち人間が環境に与える影響は極度に増大し、地球環境を大きく破壊しつつあります。これは人類の生存をも脅かす重大な問題です。

この地球は私たちが祖先から受け継いだものであると同時に、子孫から託されているかけがえのないものです。地球環境を守るためには、私たち一人ひとりが生活スタイルを見直すとともに、事業のあり方を変革し、行政・企業・消費者が力を合わせて環境保全型社会への転換を図っていくしかありません。

コープこうべは、くらしを守るという生活協同組合の目的にそって、環境問題解決のために全力をつくすことを誓い、「コープこうべ環境憲章」を以下のとおり定めます。

### 基本理念

地球環境はすべての面で有限であり、私たち人間はその中で活動せざるをえません。コープこうべの組合員・職員の一人名はそのことを認識し、限られた地球環境の中で自然と共生していくという思いを大切に持ち続けていきます。

創立以来、コープこうべは組合員のくらしを守るための運動を展開

してきました。今後さらに、環境問題を“くらしのあり方、社会システムのあり方を問う意識変革の問題”と認識し、“健康・福祉・平和”を守る運動とともに、生協運動の根源的課題として、事業活動も含めて先進的な取り組みを積極的に展開していきます。

### 行動指針

生協は、消費者運動としての側面と同時に事業体としての側面をもっており、その両面で環境保全への取り組みを推進していきます。

コープこうべは以下の方針を基本として、組合員と職員が一緒になって考え、悩み、創造し、行動するとともに、環境保全活動や環境負荷に関する情報を公開していきます。

1. くらしの見直し運動をすすめ、環境保全型社会への転換を推進します。
2. 事業活動から発生する直接・間接の環境負荷の低減を推進します。
  - ① 環境に配慮した事業体への転換を図ります。
  - ② 環境に配慮した商品の開発・改善を図ります。

1996年5月31日

生活協同組合コープこうべ 第76期通常総代会

# 組合長理事 あいさつ

生活協同組合コープこうべ  
組合長理事

木田 克也



2015年9月、国連で「持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)」が全会一致で採択され、世界全体で持続可能な社会の実現に向けて取り組むことが確認されました。

SDGsは、持続可能性に関連するすべての分野が包含される新たな枠組みとして、昨今急速に注目されています。また、地球温暖化などの環境分野だけでなく、“誰一人取り残さない”社会の実現に向け、全世界が取り組むべき課題として17の目標が掲げられ、これらの目標を意識した事業活動が世界全体で始まっています。

コープこうべは、これまで組合員の皆さんとともに持続可能な社会の実現に向け、環境問題をはじめ様々な取り組みをすすめてまいりました。テーマは時代時代で変化してきましたが、あらためて生協の活動や事業を振り返ってみると、このSDGsの枠組みと軌を一にしたものが数多くみられます。

コープこうべでは昨年、2030年に向けた環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」を策定しました。本誌では、この目標の達成に向けて2018年度に取り組んだ「地球温暖化防止と再生可能エネルギー」、「資源循環型の暮らし」、そして「暮らしと環境をつなげて考える」の概要とともに、これらの取り組みをSDGsの枠組みで捉えなおし、整理しています。

2年後の2021年、コープこうべは創立100周年の節目を迎えます。生協の役割や価値を広く発信しながら、地域や社会の担い手の皆さまと連携し、いつまでも安心してくらすことができる地域づくり、人づくりをすすめていきたいと考えています。

次の100年に向けて、ご一緒に取り組みをすすめてまいりましょう!

2019年5月

## コープこうべ概要

(2019年3月31日現在)

|       |   |
|-------|---|
| 名称    | 生活協同組合コープこうべ  |
| 設立    | 1921年(大正10年)  |
| 所在地   | 〒658-8555<br>兵庫県神戸市東灘区住吉本町<br>1丁目3番19号  |
| 出資金   | 361.0億円   |
| 供給高   | 2,440.5億円   |
| 組合員数  | 1,701,645人  |
| 組織率   | 50.0%<br>※活動エリア内世帯に占める組合員世帯の割合  |
| 活動エリア | 兵庫県全域・京都府京丹後市、<br>大阪府北部(豊中市、箕面市、池田市、<br>吹田市、茨木市、高槻市、摂津市、能勢町、<br>豊能町、島本町、大阪市淀川3区)  |
| 主な事業  | 組合員世帯を対象に、<br>商品の生産・供給事業および<br>教育・学習を行い、<br>生活文化の向上を図る事業など                        |
| 総職員数  | 9,652人  |
| 事業所   | 住吉事務所/1か所<br>地区活動本部/8か所<br>店舗/161店舗<br>協同購入センター/23事業所<br>食品工場/1か所<br>物流センター/7センター |



## 環境チャレンジ目標 エコチャレ 2030

(※2018年策定)

2030年に向けた  
環境チャレンジ目標を策定し、  
取り組みを推進しています。

### チャレンジ1 事業活動における CO<sub>2</sub>排出量を半減!

2050年度には、  
90%削減を  
目指す!

#### 重点施策

- 設備更新/車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替



### チャレンジ2 事業活動における 食品廃棄物を半減!

#### 重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンク等への食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上



### チャレンジ3 環境に配慮したエシカルな商品や サービスの開発・供給推進!

#### 重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進
- 容器包装の削減



### チャレンジ4 組合員とともに エシカル消費を拡大!

#### 重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大



コープこうべの環境への取り組みはホームページで詳しくご紹介しています

<https://eco.coop-kobe.net>

データ集 <https://www.kobe.coop.or.jp/ecoreport/index.html>



「生活協同組合コープこうべ 環境報告書2019」

編集・発行/生活協同組合コープこうべ 企画政策部 環境推進

TEL: 078-856-2068 FAX: 078-856-1700

